

議 会

- 第1回定例会 -

3月9日に招集された第1回定例町議会では、町長・教育長の執行方針や新年度予算などが審議されました。ここでは、町長と教育長の行政報告(抜粋)についてお知らせし、平成28年度の町長と教育長の執行方針については、町制事務委託文書でお知らせします。

町長行政報告

①個人番号の通知及び個人番号カードの交付状況について

平成27年10月5日「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」、いわゆる「番号法」が施行され、全ての国民に12桁の個人番号が割り振られており、法施行後、各個人の個人番号は、通知カードによって世帯ごとに通知されております。

通知カードを受領した方で希望する方は、地方公共団体情報システム機構へ個人番号カードの交付申請を行い、個人番号カードを取得することができます。交付申請を行った方の個人番号カードは役場へ送付され、役場窓口で本人確認と暗

証番号の設定を行った上で個人番号カードを交付しております。

②新冠町まち・ひと・しごと「人口ビジョン」及び「総合戦略」の策定について

当町におきましては、平成27年1月、役場庁内に新冠町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定本部を設置し、4月には、策定の段階で様々な立場の方から広く意見を聴取するため、自治会連合会や産業団体、教育機関などの代表者で構成する新冠町総合戦略推進会議を立ち上げるとともに、町議会ははじめ、町民の皆さんのご意見などを反映し、人口ビジョン及び総合戦略を策定いたしました。

人口ビジョンは、50年後の2060年の人口を3500人、3400人を維持することを展望しております。

また、総合戦略は、人口ビジョンを達成するための基本計画であり、推進期間は5年間となっております。

戦略は、まち・ひと・しごとの5原則である、自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視を踏まえて各施策を推進するものです。

③JR日高線の復旧に向けた取組など

管内7町長及びJR北海道担当副本部長、日高振興局長、道総合政策部担当局長で構成する「JR日高線沿線自治体協議会」の第2回目となる会議が、2月28

日に当町役場で開催されました。

JR北海道からは、全く提案事業の精査がされておりませんでしたので、残念ながら議論は進展いたしませんでした。

今後は、提案事業に対する精査をJR北海道でしっかりとやらせてもらい、その上で担当者レベルの幹事会を経て、次回の会議を開催することで確認いたしました。

④平成27年国勢調査速報について

昨年10月1日を基準日とする平成27年国勢調査が実施され、その速報値が公表されましたので、ご報告申し上げます。

当町におきましては、前回調査と比較して、人口は3.1%減(179人減)の5596人、世帯数は0.7%増(16世帯増)の2404世帯となっております。

この結果を全道179市町村で見ますと、増加した8自治体を含め減少率が低い順番で当町は22番目に位置し、22団体から市を除くと14番目となります。

この5年間を住民基本台帳の人口を基に見てみますと、出生から死亡を差し引いた自然要因では163人の減少となっており、転入から転出を差し引いた社会要因では19人増となっております。

⑤株式会社新冠ヒルズの運営について

町の出資団体である、株式会社新冠ヒルズの経営状況につきましては、毎年6月招集の第2回定例会において報告しているところでありましたが、近年は営業収

益で赤字の状態が続いております。

経営の改善を図るための方策として、ホテル業を営んでいる企業からの経営指導などについて相談するなどいたしました。が、そのためには多額の費用負担が発生するため、実行に移す事が出来ないでいたりましたが、今般、札幌市に本社を置く株式会社ファウンドから、売見合つた費用負担による経営改善方策として、同社への業務委託の提案を受け、去る2月12日に株式会社新冠ヒルズの臨時株主総会において、4月1日から期間を2年間(延長可能)とする同社への業務委託について決定となりました。

⑥ピーマン集出荷選別施設整備事業

今般、計画していた全ての工事が完成し、本年6月からの施設稼働に向け準備が整いましたので、ご報告申し上げます。

新しいピーマン集出荷選別施設は、鉄骨造一部2階建て、延べ床面積1744㎡で、形状選別機は荷受けラインをオートメーション化し、選別ラインは従来の6レーンから4レーンを増設し、10レーンにするなど処理能力が大幅に改善され、1日当たり処理量は従来の約2倍となる1日当たり20トンとなっております。

この度の施設整備により、生産者の増産意欲を促し、安心して生産、出荷できる体制が強化され、本年の生産予定面積は昨年よりも2.5haほど多く作付される見込みとお聞きしております。

⑦新冠町地域商品券の販売結果

本年度2回目の発行となりました新冠町地域商品券につきましては、国の緊急経済対策として、回復の遅れている地方経済の消費喚起のため、新冠町商工会が昨年4月に発行した新冠町地域商品券に引き続き、北海道の財政支援を受けて、追加発行したものでございます。

商品券の販売総額は、1回目を実施した内容と同じく6千万円で、これに25%のプレミアムを上乗せした発行総額は7千5百万円でございます。

利用されたサービスのうち、一番多く利用されたのは食品・文具・日用品などの購入でございます。次いで自動車の販売・整備。その次は建築や電気工事、塗装など住宅の修繕、リフォームなどに利用されております。このような特徴は前回実施分と同様の傾向でございますが、単に日用の生活利用だけでなく、商品券発売が個人消費を押し上げ、投資的な消費活動に繋がったことは、町内経済の活性化に一定の効果があったものと理解をしております。

⑧診療所所長の就任について

国保診療所は、昨年12月に入院病床を休止し、外来診療を中心とした診療所へと転換いたしました。が、新年度からは、保健・福祉・介護との連携をこれまで以上に推し進め、町民の健康管理や増進、疾病の予防、在宅医療に重点を置いた、いわゆる地域医療を担う診療所として運営することとしております。

このため、昨年12月末をもって退職さ

れた梅津所長の後任には、地域医療に関心が高く、率先して取り組んでいただけの医師の招聘について関係機関への照会など、協議を重ねてまいりましたところ、この度、日高管内の自治体病院に勤務されている医師との交渉がまとまり、当診療所に就任されることになりましたので、ご報告いたします。

所長としてお迎えする先生は、現在、日高町の国保診療所に勤務されている上田 睦(むつみ)先生であります。

また、4月から診療所内に新たに「医療相談室」を設け、町民からの医療に関する相談に気軽に応じられる体制を整備し、町民の信頼を受ける地域に根づいた医療機関として診療所の体制づくりを鋭意努力を続け、町民皆さんの健康の保持と医療の安心安全を確保しつつ、診療所運営を展開してまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

教育長行政報告

①教育委員の活動について

1月10日、教育の各分野において、大きな成果を挙げられた方々の努力に感謝し、その功績を末永く顕彰する新冠町教育賞・教育奨励賞表彰式を挙行し、9個人、1団体に表彰盾の授与を行っております。また、2月2・3日の2日間の日程で本年度2回目となります学校訪問を行い、2月29日には本年度第3回目とな

ります総合教育会議を役場内において開催しております。

②学校教育の推進について

はじめに豊かな心身の育成についてですが、2月26日、新冠小学校、新冠中学校において昭和音楽大学のアウトリーチコンサートが開催され、レ・コード&音楽による町づくりの特色を生かした教育を進めるなかで、直接、質の高い芸術に触れることにより情操教育としても豊かな心を育むことができました。



新冠小でのアウトリーチコンサート

次に、教師の指導力と信頼される学校づくりについてですが、体罰に係る実態調査結果についてです。本年度については体罰の実態がないと報告しておりますが、今後とも様々な機会を通じて教師の指導力の向上を図り、体罰を起こさないよう継続して指導してまいります。

次に、昨年度から実施しております各種検定料助成金補助事業ですが、児童、生徒、保護者からの関心が高く、漢字検定・英語検定、あわせて106件の申し込みがあ

り、昨年度より30件の増となり、学力向上の取組として成果を上げております。

地域に開かれた学校経営の充実について、各小中学校では2月にそれぞれ地域参観日を実施しております。今年度の取組として平成30年度からの全面導入となります道徳の教科化に向けて、道徳を重点にした授業参観を実施しております。

③認定こども園ド・レ・ミの教育・保育

幼小連携の取組については、2月9日と3月1日に朝日小学校の5年生との交流会、18日には新冠小学校1年生との「わくわく祭り」を生活科の授業の一環として年長児32名が参加しました。交流をとおし、4月からの就学に向けた意識の向上に繋がる連携事業となりました。

④社会教育の推進について

レ・コード館において、年間を通じて活動しております、市民劇団ド・コードについて、本年1月24日、道民活動センターかである2・7において、札幌公演を開催し、436名の観客を集め、成功裏に公演を終えております。本年度は、レ・コード館ジュニアジャズバンドも札幌において、プロのジャズオーケストラとの共演を果たすなど、レ・コード館における子どもたちの取組みを、札幌を舞台に紹介できたことは大きな成果であったと考えております。

改めて町民の皆さんのご理解あるご協力や、関係者のみなさんのご尽力に敬意と感謝を申し上げます。

以上で、第1回定例会に対する教育行政報告と致します。